

【 予 算 委 員 会 】

(1) 審 議 概 観

第151回国会（常会）において、本委員会は、平成13年度総予算3案の審査を行うとともに、予算の執行状況に関する調査を行った。

〔 予 算 の 審 査 〕

平成13年度総予算3案は、我が国の新たな発展基盤の構築に資する施策に一層の重点化を図りつつ、公需から民需へのバトンタッチを行い、我が国経済を自立回復軌道に確実に乗せるとの基本方針の下に編成された。一般会計の予算規模は82兆6,524億円、12年度当初予算に比べ2.7%減と、平成7年度以来6年ぶりの減額予算となった。歳入面では、大幅な税収増加が見込めず、国債発行額は28兆3,180億円と前年度に比べて4兆2,920億円縮減されたものの、公債依存度は34.3%と依然30%を超える状況が続くこととなった。

総予算3案は、1月31日国会に提出され、3月26日成立した（総予算の概要については、「Ⅲの2（3）財政演説」を参照されたい）。

予算委員会では、2月28日に財団法人ケーエスデー中小企業経営者福祉事業団問題について、前参議院議員村上正邦君の証人喚問を行った。総予算の審査の経過については、衆議院からの送付を待って、まず総括方式による基本的質疑を3月6日及び7日の両日行った。その後一般的な質疑を行ったが3月15日には公聴会を開き、文京女子大学教授菊池英博君ほか5名の公述人から意見を聞き、質疑を行った。次いで、3月16日には財団法人ケーエスデー中小企業経営者福祉事業団及び報償費問題等に関する集中審議を行い、さらに3月22日及び23日午前には委嘱審査を、3月26日には締めくくり質疑を行い、討論の後、採決を行った。なお、23日に一般会計予算及び特別会計予算に対する報償費の削減を主な内容とする修正案が提出され、趣旨説明が行われた後、総予算3案と併せて審議が行われた。

主な論点は以下のとおりである。まず、森内閣総理大臣の辞意表明報道をめぐる、「森総理は本当に辞任するのか」、「総裁選を前倒し実施した場合に出馬するのか」等の質疑があり、これに対し森内閣総理大臣から、「野党から提出された内閣不信決議案及び問責決議案は、連立与党3党によっていずれも否決していただいた。現在は重要な予算審議の最中であり、適切な結論であったと思う。今後は、予算及び関連法案が一日も早く成立するよう努めていきたい。また、マスコミは自民党の総裁選前倒し発言について、事実上の辞意表明だとする報道を一方的に行っているが、自民党五役との会談で、私は辞意表明などしていない。総裁選に出るかどうかは、現時点では申し上げられない」との見解が示された。

また、KSD事件について、「KSD事件で、小山、村上両前議員が受託収賄容疑で逮捕されたが、総理はこの事件をどのように受けとめているか。KSDによる党費立て替えの実態調査はどこまで進んでいるか」との質疑があり、森内閣総理大臣及び関係各大臣から、「我が党所属議員から二人も逮捕者が出たことは、大変遺憾であり、深刻に受け止めている。今回の事件を教訓にして、思い切った改革を進めるとともに、改めて政治倫理の

確立と政治の信頼回復に取り組んでいきたい。党費立て替え疑惑については、調査を急ぐよう指示している」との答弁が行われた。

財政経済問題について、「政府は厳しい財政の現状をどのように認識しているか。景気は株価の下落や物価が継続的に下落するデフレの様相を呈し、不良債権処理も思ったほど進まず、一段と厳しさを増しているが、景気の現状をどのように認識しているか。また、日銀は昨年、ゼロ金利を解除しながら、最近金利の引き下げを行ったのはどうしてか」との質疑があり、これに対し森内閣総理大臣及び関係各大臣並びに速水日本銀行総裁から、「平成13年度末の国債残高は389兆円、地方債残高は132兆円に達する見込みで、財政は極めて厳しい状況にある。経済は、企業の設備投資が引き続き増加しているが、先行き懸念が見られるほか、個人消費が依然低迷を続けるなど、厳しい状況にある。株安は銘柄入れ替えや外国人売りも大きな要因と考える。株安が経済に与える影響も大きいので、株価対策については、景気対策の一環として今後検討していきたい。物価が2年連続して下落することは初めてで、決して正常な状況ではないが、現段階では物価下落と景気後退の悪循環というデフレ・スパイラルの状況ではない。

不良債権の処理額は、平成4年度以降今日までに、68兆円にのぼるが、新たに発生する不良債権にその処理が追いついていないのが実情である。今後は直接償却などによって、さらに不良債権処理を進めていきたい」、「日銀においては、昨年8月、ゼロ金利を解除したが、昨年末以降米国及び欧州諸国で景気が鈍化し始め、各国で金利引き下げの動きが出てきている。グローバル化した我が国経済は、海外の影響を受けやすく、企業マインド等への影響を考慮して、公定歩合引き下げ等の措置をとった」との答弁が行われた。

報償費横領事件について、「外務省の職員がいわゆる官房機密費の横領事件で逮捕されたことは、国民の怒りと不信を買っている。なぜ、6年間も不正が発見できなかったのか。厳正なチェック体制を早急に作るべきではないか。報償費は減額修正すべきではないか。外務省から内閣官房に報償費の一部が上納されているのではないかとされているが事実か」との質疑があり、これに対し森内閣総理大臣及び関係各大臣から、「外務省職員が国民の信頼を裏切る不祥事を起こしたことは極めて遺憾であり、心からお詫びしたい。6年間の間、報償費の事務を全て一人の職員に任せていたことが問題であった。再発防止のために、要人外国訪問支援室の廃止やクレジットカードによる支払いの禁止など、諸改革を進めている。報償費は内政、外交を円滑かつ効果的に遂行するため、その都度判断して機動的に使用する経費で、その用途等は公開しないこととなっているが、国政上必要不可欠な経費で現在の予算額を維持したい。なお、外務省報償費が内閣官房に上納されていたという事実はない」との答弁が行われた。

このほか、日米及び日ロ首脳会談の成果、水産高校実習船「えひめ丸」衝突・沈没事故への対応、沖縄米軍基地問題、特殊法人等行財政改革、地方分権推進状況、規制緩和への取組、教育改革、医療制度改革への取組と介護保険の実施状況等について質疑が行われた。

〔国政調査等〕

森内閣の退陣後、小泉内閣が4月26日に誕生したことを受け、小泉総理の所信に対し予算委員会が開かれ、5月21日及び22日の両日、総理以下全大臣出席の下、質疑が行われた。

また、5月30日には、経済対策及び外交問題等に関する集中審議が行われた。

質疑では、小泉内閣の政治姿勢、構造改革の中身、不良債権処理の進め方、ハンセン病訴訟判決への対応、田中外相の外交への取組方等について質疑が行われた。

(2) 委員会経過

○平成13年2月7日（水）（第1回）

- 理事を選任した。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。

○平成13年2月23日（金）（第2回）

- 平成13年度総予算3案に関し、財団法人ケーエスデー中小企業経営者福祉事業団問題について村上正邦君を証人として出頭を求めることを決定した。
- 平成13年度一般会計予算（予）
平成13年度特別会計予算（予）
平成13年度政府関係機関予算（予）
以上3案について宮澤財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成13年2月28日（水）（第3回）— 証人喚問 —

- 平成13年度一般会計予算（予）
平成13年度特別会計予算（予）
平成13年度政府関係機関予算（予）
以上3案に関し、財団法人ケーエスデー中小企業経営者福祉事業団問題について村上正邦君から証言を聴いた。

○平成13年3月6日（火）（第4回）— 基本的質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）
以上3案について森内閣総理大臣、扇国土交通大臣、河野外務大臣、宮澤財務大臣、麻生経済財政政策担当大臣、坂口厚生労働大臣、柳澤金融担当大臣、平沼経済産業大臣、高村法務大臣、福田内閣官房長官、橋本国务大臣、片山総務大臣、町村文部科学大臣、荒木外務副大臣、政府参考人及び参考人日本銀行総裁速水優君に対し質疑を行った。

○平成13年3月7日（水）（第5回）— 基本的質疑 —

- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）
以上3案について森内閣総理大臣、谷津農林水産大臣、扇国土交通大臣、坂口厚生労働大臣、宮澤財務大臣、平沼経済産業大臣、麻生経済財政政策担当大臣、柳澤金融担当大臣、河野外務大臣、福田内閣官房長官、町村文部科学大臣、高村法務大臣、片山総務大臣、川口環境大臣、荒木外務副大臣、衛藤外務副大臣、政府参考人及び参考人日本銀行総裁速水優君に対し質疑を行った。

○平成13年3月8日（木）（第6回）

- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について谷津農林水産大臣、町村文部科学大臣、坂口厚生労働大臣、扇国土交通大臣、片山総務大臣、高村法務大臣、斉藤防衛庁長官、宮澤財務大臣、平沼経済産業大臣、麻生経済財政政策担当大臣、橋本国务大臣、福田内閣官房長官、河野外務大臣、柳澤金融担当大臣、伊吹国家公安委員会委員長、川口環境大臣、荒木外務副大臣、金子会計検査院長、政府参考人及び参考人日本銀行総裁速水優君に対し質疑を行った。

○平成13年3月9日（金）（第7回）

- 平成13年度総予算審査のため公聴会開会承認要求書を提出することを決定した。
- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について片山総務大臣、扇国土交通大臣、谷津農林水産大臣、河野外務大臣、宮澤財務大臣、柳澤金融担当大臣、福田内閣官房長官、坂口厚生労働大臣、平沼経済産業大臣、橋本国务大臣、高村法務大臣、麻生経済財政政策担当大臣、川口環境大臣、榎屋厚生労働副大臣、田中農林水産副大臣、大野文部科学副大臣、河村文部科学副大臣、松田経済産業副大臣、金子会計検査院長、政府参考人、会計検査院当局及び参考人日本銀行総裁速水優君に対し質疑を行った。

○平成13年3月12日（月）（第8回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について森内閣総理大臣、河野外務大臣、町村文部科学大臣、福田内閣官房長官、扇国土交通大臣、宮澤財務大臣、平沼経済産業大臣、片山総務大臣、斉藤防衛庁長官、麻生経済財政政策担当大臣、橋本国务大臣、谷津農林水産大臣、伊吹国务大臣、坂口厚生労働大臣、石破防衛庁副長官、根来公正取引委員会委員長及び津野内閣法制局長官に対し質疑を行った。

○平成13年3月15日（木）（公聴会 第1回）

- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
- 平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
- 平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について次の公述人から意見を聴き質疑を行った。

文京女子大学経営学部教授	菊池	英博君
日本労働組合総連合会事務局長	笹森	清君
沖縄大学教授	新崎	盛暉君

東京大学社会科学研究所教授 大沢 真理君
帝京大学理事長・総長 冲永 荘一君
多摩大学学長 グレゴリー・クラーク君

○平成13年3月16日（金）（第9回）— 集中審議 —

- 理事の補欠選任を行った。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について森内閣総理大臣、扇国土交通大臣、河野外務大臣、谷津農林水産大臣、福田内閣官房長官、坂口厚生労働大臣、平沼経済産業大臣、宮澤財務大臣、柳澤金融担当大臣、沓掛環境副大臣、荒木外務副大臣、松田経済産業副大臣、増田厚生労働副大臣、榊屋厚生労働副大臣、河村文部科学副大臣、金子会計検査院長、政府参考人、会計検査院当局及び参考人日本中央競馬会理事長高橋政行君に対し質疑を行った。

○平成13年3月19日（月）（第10回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について内閣委員会、総務委員会、法務委員会、外交防衛委員会、財政金融委員会、文教科学委員会、厚生労働委員会、農林水産委員会、経済産業委員会、国土交通委員会及び環境委員会については3月22日の1日間、沖縄及び北方問題に関する特別委員会については3月23日午前の半日間、当該委員会の所管に係る部分の審査を委嘱することを決定した。

- 以上3案について参考人の出席を求めることを決定した後、宮澤財務大臣、柳澤金融担当大臣、高村法務大臣、町村文部科学大臣、福田内閣官房長官、扇国土交通大臣、坂口厚生労働大臣、伊吹防災担当大臣、片山総務大臣、河野外務大臣、谷津農林水産大臣、斉藤防衛庁長官、橋本国务大臣、坂井内閣府副大臣、小坂総務副大臣、泉国土交通副大臣、松田経済産業副大臣、榊屋厚生労働副大臣、金子会計検査院長、政府参考人、会計検査院当局及び参考人日本銀行副総裁藤原作彌君に対し質疑を行った。

○平成13年3月21日（水）（第11回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成13年度一般会計予算（衆議院送付）
平成13年度特別会計予算（衆議院送付）
平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について平沼経済産業大臣、宮澤財務大臣、河野外務大臣、谷津農林水産大臣、片山総務大臣、扇国土交通大臣、橋本国务大臣、柳澤金融担当大臣、坂口厚

生労働大臣、高村法務大臣、福田内閣官房長官、町村文部科学大臣、川口環境大臣、斉藤防衛庁長官、若林財務副大臣、松田経済産業副大臣、根来公正取引委員会委員長、政府参考人、最高裁判所当局、参考人財団法人日本情報処理開発協会会長井川博君及び日本銀行総裁速水優君に対し質疑を行った。

○平成13年3月23日（金）（第12回）

○理事の補欠選任を行った。

○平成13年度一般会計予算（衆議院送付）

平成13年度特別会計予算（衆議院送付）

平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案、平成13年度一般会計予算（衆議院送付）に対する修正案及び平成13年度特別会計予算（衆議院送付）に対する修正案について修正案提出者参議院議員戸田邦司君、同千葉景子君、同日下部禧代子君、森内閣総理大臣、平沼経済産業大臣、片山総務大臣、谷津農林水産大臣、福田内閣官房長官、河野外務大臣、宮澤財務大臣、柳澤金融担当大臣、坂口厚生労働大臣、斉藤防衛庁長官、川口環境大臣、麻生経済財政政策担当大臣、松田経済産業副大臣、榊屋厚生労働副大臣、荒木外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

○平成13年3月26日（月）（第13回）— 締めくくり質疑 —

○理事の補欠選任を行った。

○各委員長からの委嘱審査報告書は、これを会議録に掲載することに決定した。

○平成13年度一般会計予算（衆議院送付）

平成13年度特別会計予算（衆議院送付）

平成13年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案、平成13年度一般会計予算（衆議院送付）に対する修正案及び平成13年度特別会計予算（衆議院送付）に対する修正案について森内閣総理大臣、伊吹国務大臣、福田内閣官房長官、扇国土交通大臣、河野外務大臣、橋本国務大臣、柳澤金融担当大臣、麻生経済財政政策担当大臣、宮澤財務大臣、平沼経済産業大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

（平成13年度総予算）賛成会派 自保、公明

反対会派 民主、共産、社民、無会、自由、二連

○平成13年5月21日（月）（第14回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○予算の執行状況に関する件について小泉内閣総理大臣、片山総務大臣、森山法務大臣、坂口厚生労働大臣、石原国務大臣、田中外務大臣、柳澤金融担当大臣、竹中経済財政政策担当大臣、塩川財務大臣、福田国務大臣、遠山文部科学大臣、扇国土交通大臣、川口環境大臣及び平沼経済産業大臣に対し質疑を行った。

○平成13年5月22日（火）（第15回）

○理事の補欠選任を行った。

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する件について小泉内閣総理大臣、扇国土交通大臣、福田内閣官房長官、森山法務大臣、石原国務大臣、塩川財務大臣、武部農林水産大臣、川口環境大臣、竹中経済財政政策担当大臣、坂口厚生労働大臣、遠山文部科学大臣、田中外務大臣、村井国務大臣、尾身国務大臣、中谷防衛庁長官、平沼経済産業大臣、片山総務大臣、堀川参議院事務総長、政府参考人及び参考人住宅金融公庫総裁望月薫雄君に対し質疑を行った。

○平成13年5月30日（水）（第16回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する件について小泉内閣総理大臣、田中外務大臣、中谷防衛庁長官、坂口厚生労働大臣、福田内閣官房長官、片山総務大臣、柳澤金融担当大臣、竹中経済財政政策担当大臣、石原国務大臣、塩川財務大臣、平沼経済産業大臣、扇国土交通大臣、武部農林水産大臣、森山法務大臣、尾身国務大臣、川口環境大臣、村井国務大臣、政府参考人及び参考人国際協力銀行総裁保田博君に対し質疑を行った。

○平成13年6月29日（金）（第17回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

(3) 付託議案審議表

・ 予 算 （ 3 件 ）

番号	件名	提出月日	参議院			衆議院		
			委員会付託	委員会議決	本会議議決	委員会付託	委員会議決	本会議議決
1	平成13年度一般会計予算	13.1.31	13.1.31 (予備)	13.3.26 可決	13.3.26 可決	13.1.31 予算	13.3.2 可決	13.3.2 可決
		○13.1.31 衆・参 財政演説 ○13.3.26 千葉景子君外2名修正案提出 3.26 否決						
2	平成13年度特別会計予算	1.31	1.31 (予備)	3.26 可決	3.26 可決	1.31 予算	3.2 可決	3.2 可決
		○13.3.26 千葉景子君外2名修正案提出 3.26 否決						
3	平成13年度政府関係機関予算	1.31	1.31 (予備)	3.26 可決	3.26 可決	1.31 予算	3.2 可決	3.2 可決